



2012年度のご報告

今回より報告書のデザインが新しくなりました

株主の
皆様へ

2012.4.1-2013.3.31

2期連続過去最高の 売上高を更新

「チケットぴあ」サイトリニューアルを機に
ユーザー数が大幅増

増収増益

利益規模は前年比
約4倍を達成

9年ぶりに実施 普通配当を



復興支援プロジェクト
「チームスマイル」活動が
一般社団法人化

主催興行を拡大



ぴっけろ くまっぴー
私たちがぴあの新しいキャラクターです。がんばります！

※キャラクターのネーミングは、現在商標出願中です。

再建モードから成長モードへ

失われた5年間を取り戻します

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。おかげさまで、ぴあグループにとって創業40周年にあたる当連結会計年度におきましては、当初予想を大幅に上回り、過去最高の連結売上高を2期連続で達成するとともに、利益規模も昨年度に比して大幅な増加となりました。新たに策定した中期事業計画の初年度として、着実なる成果と実績が得られたものと思っております。これもひとえに株主の皆様のご支援の賜物と、重ねて御礼を申し上げます。

しかしながら、業績の大幅回復の主な要因は、この間断行してまいりました各種リストラ策やコストカットによるところが大きく、従業員にも大変な我慢を強いた期間が続きました。2008年に発生したチケットシステムのトラブルにより3期連続で赤字が続き、本格的な回復までには約5年を要しました。おかげさまで強い企業体質が結果、作られました。しかし、そのことで意識が縮こまってしまっはいけないとも思っています。安定した黒字基盤の回復が図られた今後は、いよいよ「再建モード」から「成長モード」へと舵を切る段階に入ったものと考えております。とはいえ、慢心することなく、着実に、成長へのステップを踏んでいきたいと思っています。

「感動のライフライン」の実現に向けて

世の中に目を向ければ、この間、世界的な景気低迷が続く

中にあって、レジャー・エンタテインメント市場は常に底堅く推移してきました。こうした状況からも、エンタテインメントは多くの人に夢や希望、そして生きる力を与えるために不可欠なものであることがわかります。日本国内でも、従来の枠にとらわれないコンテンツや、新たなジャンルの出現によってマーケットは拡大しており、ましてや東アジア地域においては今後さらに大きな成長が期待されています。

2年前の2011年、私達は情報誌「ぴあ」を休刊し、エンタテインメントの情報提供をインターネットへシフトさせることを宣言しました。マーケットを顕在化させていくためには、インターネット上でエンタテインメントをもっと身近で、もっと簡単に楽しめるような、新たなサービスやプラットフォームの開発が必要です。私達は、レジャー・エンタテインメント領域において、人々の心の豊かさをサポートする「感動のライフライン」の構築をビジョンに掲げていますが、まさに、そうしたビジョンが現実化される時代に入ってきたと言えます。今後は日本国内だけでなく、東アジアも視野に入れ、さらなる成長に向けた新たな取り組みを、積極的に展開していく所存です。

「ひとりひとりが生き生きと」できる社会を目指して

新たな取り組みと同時に、当社が大切に継続している営みもあります。映画界における若い才能の発掘と育成を掲げる「PFFぴあフィルムフェスティバル」の活動は、今年で36

代表取締役社長
や な い ひろし

矢内 廣



年目を迎えます。日本映画界を代表するプロの監督をすでに100名以上輩出し、昨今の日本映画躍進の土台を築いてきました。また、東日本大震災の直後、社内の有志から発足した震災復興のボランティア活動「チームスマイル」は、各界の方々からの賛同を受け、2012年10月に一般社団法人化されました。復興支援はまさに第二段階を迎えようとしており、今後は「心のケア」を中心とした「継続的」な仕組みを作り出すことが求められています。これらもまた、エンタテインメントには被災者の皆さんを元気づける力がある、との信念に基づいたものです。当社ではこの「チームスマイル」をCSR活動として明確に位置付け、一般社団法人の活動を積極的に支援してまいります。

こうした様々な企業活動を通じて、私達はこれからも、「ひとりひとりが生き生きと」の企業理念に照らし、ひとりひとりの皆様が、それぞれの人生において感動と希望に満ち、それぞれの個性を十分に発露できるような社会を作っていきたいと考えています。いよいよ新しい成長へのチャレンジが始まります。発想は大胆にしつつも、実施には細心の注意を払い、慎重に進めていきたいと思っております。株主の皆様におかれましては、引き続き温かいご理解とご支援を賜りますよう、この場をお借りして、心よりお願いを申し上げます。

ピックアップ

Jリーグとのパートナー契約による取り組みを拡大

Jリーグのさらなる発展、ファン・サポーターのより一層の拡大を目指し、Jリーグとのパートナー事業を拡大しています。2012年2月に「Jリーグオフィシャルチケットングパートナー」契約を締結後、同年3月には、ぴあのチケットングシステムをASP提供し、Jリーグ公式チケット販売サービス「Jリーグチケット」を開設しました。今年3月には、ファン・サポーター向けのJリーグ全試合観戦記録システム「ワンタッチパス®」にて、新たに開発・運営協力。各クラブやお客様がより使いやすいシステムへと改善いたしました。今後は次世代に向けたチケットレスサービスの開発や顧客データを活用したマーケティングなど様々な取り組みを行ってまいります。

※非接触ICカードを年間パスとして用い、スタジアムのゲートでリーダーにタッチすることで入場が自動認証・記録されるサービス



主催（共催／出資）興行を拡大

自主イベントの開催、優良興行への出資を拡大しています。今年1月に開幕した「ツタンカーメン展〜黄金の秘宝と少年王の真実〜」（ぴあも主催）は、日本の美術展史上歴代2位の入場者数を記録。また、ぴあ創業40周年記念イベント「MUSIC COMPLEX 2012」（昨年11月開催）も盛況のうちに終了し、今後は通年で開催することを決定しました。さらに、シルク・ドゥ・ソレイユが、マイケル・ジャクソンの歌声と映像とともに、ダンスとアクロバットで彼の半生を振り返る「マイケル・ジャクソン ザ・イモータル ワールドツアー」（今年5〜6月 さいたま、名古屋、大阪等に開催）にも主催参画し、大きな話題を集めました。



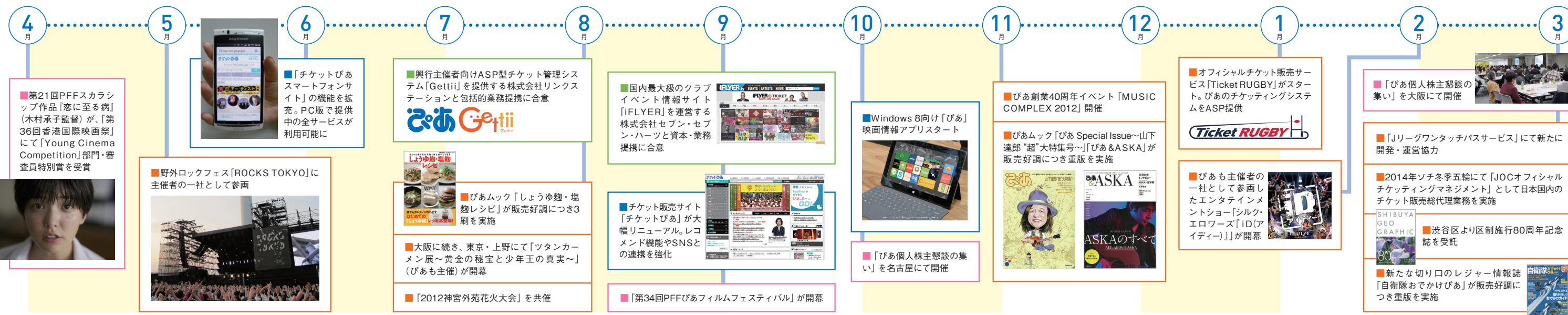
震災復興支援「チームスマイル」活動は第二段階へ

東日本大震災の直後、誰からともなく社内の有志が声を掛け合い、この「チームスマイル」活動が始まりました。エンタテインメントを通じて、被災地の皆様にたくさんの「笑顔」や「元気」をお届けしたい、そう考えて、私達はこのボランティア活動を続けてきました。これからは、被災地の方々と共に手を取り合って立ち上げられる、継続的な環境を生み出していきたいと思っています。



2012年度の主なトピックス

■インターネットのさらなる活用 ■既存事業の盤石化、経営資源の選択と集中 ■アライランス戦略の推進 ■CSR活動 他

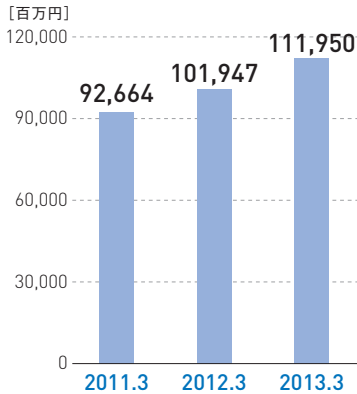


連結財務ハイライト

売上高

前年同期比
9.8% 増

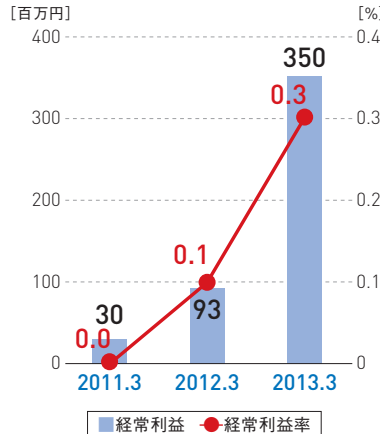
大型興行のチケット販売が好調に推移したことに加え、インターネットでのチケット販売も拡大し、売上高は当初予想を大幅に上回るかたちで2期連続で過去最高を更新。



経常利益

前年同期比
275.7% 増

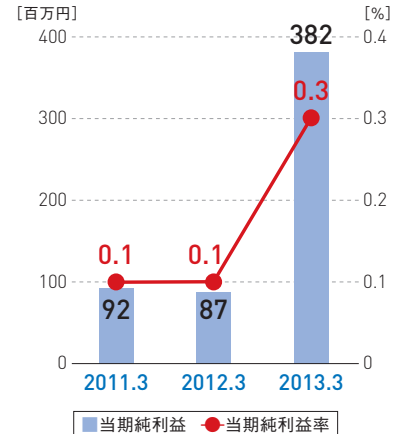
2012年度からの事業セグメントの一本化により、当社の強みを活かした全社横断的な施策を迅速に行えるようになったことも増収増益に奏功。



当期純利益

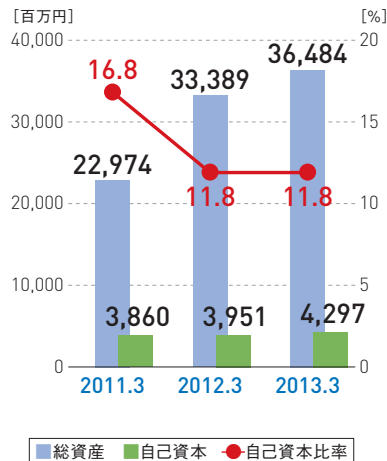
前年同期比
336.9% 増

売上高・経常利益・当期純利益ともに大幅に良好し、利益規模は前年比約4倍と、黒字基調が一層安定化。



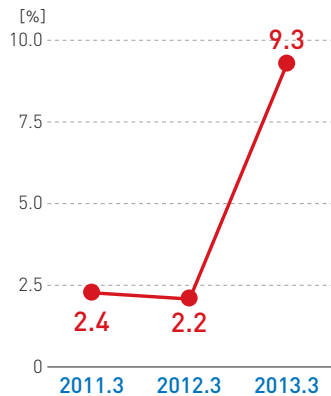
安全性指標 自己資本比率

※自己資本比率=自己資本/総資産

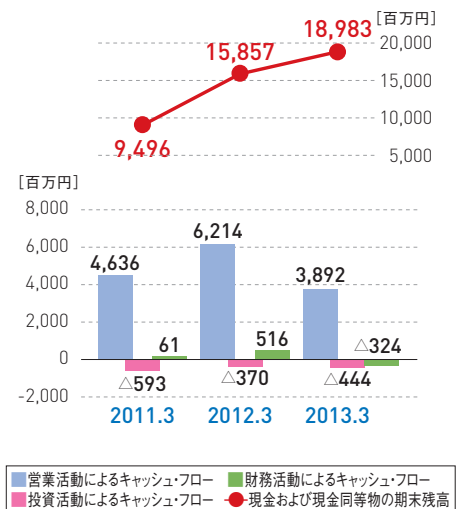


効率性指標 ROE (株主資本利益率)

※ROE=当期純利益/期首と期末の自己資本の平均値



キャッシュ・フロー



2013年度の見通し

中期事業計画の2年目となります2013年度の通期業績見通しといたしましては、連結ベースで、売上高1,100億円、営業利益6億円、経常利益6億円、当期純利益5億円となる予想です。

2013年度連結業績予想

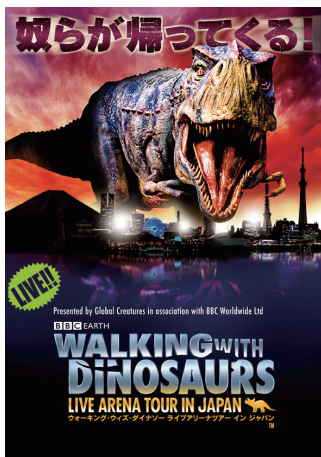
[単位:百万円]

	上期		通期	
	2012年度実績	2013年度予想	2012年度実績	2013年度予想
売上高	52,923	53,000	111,950	110,000
営業利益	△326	150	380	600
経常利益	△335	130	350	600
当期純利益	△351	20	382	500
1株あたりの配当金	-	-	5.00円	5.00円

当社財務情報はホームページでもご覧いただけます。<http://www.pia.co.jp/pia/ir/index.html>

ご案内

ぴあが主催(共催/出資)するエンタテインメント(2013年7月以降開催予定の公演)

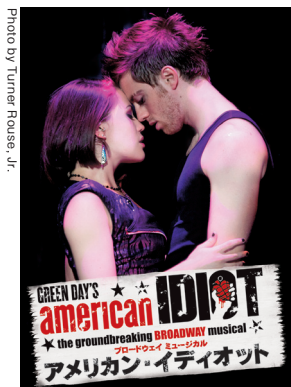


イベント

ウォーキング・ウィズ・ダイナソー ライブアリーナツアー イン ジャパン

全世界237都市で800万人以上が熱狂した恐竜たちが再び上陸。アニメトロニクスを駆使しリアルに蘇った10種20体もの恐竜がアリーナの中を所狭しと走り、吼え、戦う、驚愕の光景が繰り広げられる。

7/12~7/15 ●横浜アリーナ
7/18~7/22 ●愛知・日本ガイシホール
7/25~7/28 ●大阪城ホール
8/1~8/7 ●さいたまスーパーアリーナ
8/15~8/18 ●マリンメッセ福岡
8/22~8/25 ●広島グリーンアリーナ



演劇

ブロードウェイミュージカル american IDIOT 「アメリカン・イディオット」

GREEN DAYの衝撃的なナンバーにのせて、3人の青年たちを描くロックミュージカル。グラミー賞とトニー賞を受賞した話題作が日本に初上陸。

8/7~8/18 ●東京国際フォーラム ホールC

イベント

アンドレアス・グルスキー展

7/3~9/16 ●東京・国立新美術館
2014年2/1~5/11 ●大阪・国立国際美術館

演劇

マシュー・ボーン「ドリアン・グレイ」

7/11~7/15 ●東京・Bunkamuraオーチャードホール



クラシック

名作シネマとオーケストラ

最新デジタル技術で、映画から台詞や効果音を残したままオーケストラの音楽のみを消去。そこにオーケストラの生演奏を結びつける、新しい映画体験を。

7/19~7/21 ●東京文化会館 大ホール

イベント

特別展 マンモス「YUKA」

7/13~9/16 ●パシフィコ横浜 展示ホールA

音楽

BAYCAMP 2013

9/7 ●川崎市東扇島東公園

演劇

L'Equipe (レキップ) vol.1「秋のソナタ」

10/25~11/3 ●東京芸術劇場 シアター・イースト

公演情報の詳細は、「チケットぴあ」Webサイトにてご確認ください。

<http://pia.jp/t>

最近のぴあの出版物

話題の新刊



レジャー・旅

鉄道ぴあ 特集編
[3月発売]



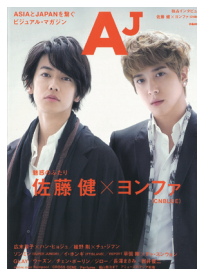
エンタメ

ハローキティPremium
[3月発売]



グルメ

東京最高のレストラン
Magazine
[3月発売]



エンタメ

AJ [エー・ジェー]
[4月発売]



スポーツ

自己を変革する
イチロー262のメッセージ
[4月発売]



レジャー・旅

夏ぴあ
首都圏版/関西版/東海版
[5月発売]



グルメ

ぴあ六本木食本
[5月発売]



エンタメ

SODA 7/1号
[5月発売] ※隔月サイクル発売

定刊誌

ウレぴあ [季刊]

韓流ぴあ [月刊]

月刊スカパー! [月刊]

TVぴあ (全国5版) [隔週刊] ※販売元

ぴあの出版物は、書店及び、オンラインショップ「ぴあBOOKSHOP」にてお買い求めいただけます。

piabook.com

その他、さまざまなMOOK・書籍等を続々刊行中です。

※上記は6月1日時点の情報です。

株式情報 (2013年3月31日現在)

会社概要

商号	ぴあ株式会社 (PIA CORPORATION)		
本店所在地	東京都渋谷区東1-2-20 渋谷ファーストタワー		
設立	1974年12月		
資本金	4,239,158千円		
社員数(連結)	246名		
事業内容	音楽・スポーツ・演劇・映画・各種イベント等のチケット販売、レジャー・エンタテインメント領域におけるムック・書籍の刊行及びWebサイトの運営、コンサートやイベントの企画・制作・運営などエンタテインメントに付随する他事業		
役員	代表取締役社長 (CEO)	矢内 廣	
	取締役	白井 衛	
	取締役 (COO)	唐沢 徹	
	取締役	木本敬巳	
	取締役	長島靖弘	
	取締役	夏野 剛	
	取締役	吉澤保幸	
	取締役 (社外)	佐久間 昇二	
	取締役 (社外)	富山和彦	
	取締役 (社外)	松永明生	
	常勤監査役	能勢正幸	
	監査役	斎藤廣一	
	監査役 (社外)	松田政行	
	監査役 (社外)	新井誠	

※役員構成は第40回定時株主総会決議後の2013年6月22日時点の情報を掲載しています。

主要グループ会社	ぴあデジタルコミュニケーションズ株式会社 チケットぴあ九州株式会社、株式会社東京音協 チケットぴあ名古屋株式会社		
----------	--	--	--

株式の状況

発行済株式総数	14,092,913株
株主数	24,956名

主な株主

株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
矢内 廣	2,900,100	20.58
株式会社セブン&アイ・ホールディングス	1,409,400	10.00
凸版印刷株式会社	1,087,709	7.72
株式会社セブン&アイ・ネットメディア	704,700	5.00
株式会社セブン・イレブン・ジャパン	704,700	5.00
斎藤廣一	576,300	4.09
株式会社経営共創基盤	481,800	3.42
林 和男	450,800	3.20
株式会社ビー・エス	408,800	2.90
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	377,700	2.68

株式メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
配当受領株主確定日	毎年3月31日 (中間配当を実施するときの株主確定日は、9月30日です)
公告方法	電子公告 (URL) http://www.pia.co.jp/pia (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞にて行います)
株主名簿管理人 事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	TEL.0120-782-031
インターネット ホームページ	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
特別口座管理機関 事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店 証券代行部 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	TEL.0120-288-324
単元株式数	100株

※住所変更等の事務手続きは、お取引の証券会社等にてお手続きください。

株主優待制度について

2013年3月31日現在の株主の皆様に対し、株主優待を実施しています。

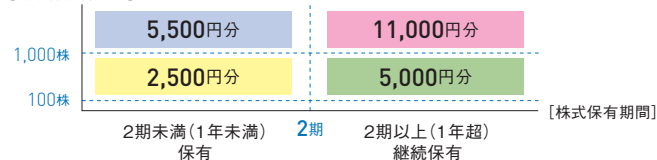
1. 優待品目と事前選択

チケットぴあギフトカード、オリジナル図書カード、オリジナルシネマギフトカードの3品目。下記優待金額の範囲内で、自由に組み合わせて事前選択していただくことができます。



2. 優待区分

[期末保有株式数]



お知らせ

『『ぴあ』の時代』文庫版が小学館より発売

2011年12月、キネマ旬報社より刊行されたドキュメント書籍『『ぴあ』の時代』が文庫化され、今年4月に小学館より発売されました。同書籍は映画情報誌「キネマ旬報」の元編集長・掛尾良夫氏執筆により、『ぴあ』の創刊から始まる成長の軌跡が関係者へのインタビューや当時の時代背景とともに綴られています。文庫版では表紙をイラストレーター・及川正通氏が手掛け、解説はコラムニスト・泉麻氏が務めています。



高橋尚子さんがランニングアドバイザー ぴあ企画のホノルルマラソンツアーを開催

当社がツアー企画を行い1990年より開催している『ぴあ『JALホノルルマラソン』ツアー』。ぴあらしいエンタテインメント性の高いイベントとしてご好評いただき、数あるホノルルマラソンツアーの中でも高い人気を誇っています。24回目を迎える今回のツアー (12月開催) でも、シドニーオリンピック女子マラソン金メダリストの高橋尚子さんに「特別ランニングアドバイザー」を務めていただくことが決定。現在、参加者の申込みも受付中です。

●『ぴあ『JALホノルルマラソン2013』ツアー』Webサイト
<http://www.pia.co.jp/honolulu-marathon/>



ぴあ株式会社

〒150-0011 東京都渋谷区東1-2-20 渋谷ファーストタワー
TEL.03-5774-5200 (大代表) <http://www.pia.co.jp/pia/>



ぴあはJOCオフィシャルチケット管理マネジメントとして、日本選手を応援しています。